

看護学科 カリキュラム・マップ

看護学科ディプロマポリシー

- ①看護学科学生は、卒業時に倫理的な原則を遵守し、専門職としての責務を果たすことができる。
- ②看護学科学生は、卒業時に対象者とそれを支える人、保健・医療・教育・福祉職に対してお互いの立場を尊重した人間関係を構築して、適切にコミュニケーションをとることができる。
- ③看護学科学生は、卒業時に高い教養を身に付け、ヘルスケア実践や健康づくりに必要な知識を有することができる。
- ④看護学科学生は、卒業時に個人・家族・地域に対し、より健康的でその人らしい生活を送るために根拠に基づいた適切で有効なヘルスケアを提供できる。
- ⑤看護学科学生は、卒業時に人々の健康のために、対象者自らが主体的に健康づくりに取り組むことを支援するとともに、健康を志向する環境(人・物・制度)の改善に努めることができる。
- ⑥看護学科学生は、卒業時に対象者を中心とした安全で質の高いヘルスケアを実践するために、自身の役割を認識し、多職種・対象者との相互理解を深めながら行動することができる。
- ⑦看護学科学生は、卒業時に論理的思考を身に付け、自己および専門職として生涯にわたり成長できる資質および県内看護職のリーダーになり得る資質を示すことができる。

